に生まれ に出会いし者たちよ に 奢れる者たちよ し者たちよ

永遠に祈り へる者たちよ りし朝は未だかなわず

嗚呼願 わ くば二度糸を紡ぎて

百年に織

りたる衣は当に引き裂かれんとす

りなく澄み わたる穹北の空に舞わ . W

朝させる 熟寝の夢の幸 けむる今ひとときの ・せよ

美は崩れゆく北都な 覚めて現に見渡せば n

天空常に雲抱けども は萌えて大地をまねく

> 荒れ野の 清いれっ 彷まま い行ける寂しさに に明日を信じつつ の 野。 に 道をする 耕たがや

虚っっ 陽^ひは (では映えて風を斬る) かぜ き かぜ き でいゆける時にこそ 傾きて我を見る

> 忘るるなかれ大願 然は 降るや青春 蝕 ば きれ の寮庭が を

胸に秘め 楡がは は枯れず空をさす 人とは と変われども Ù 浸えるいこん を

奥田 新井 和 桂 人 君 君 作 作 歌 Ш